



つみっ子



積志小学校だより
令和3年9月3日

学校教育目標：求めて共に学び 夢を目指す子を育てる

2学期がスタートしました。子供たちの声が聞こえるというのうれしいことです。

新型コロナウイルス感染拡大により、感染予防に一層留意しての生活となります。10月に予定していた5年生の武生訪問は、本年度も中止という苦渋の判断となりました。直接会うことができないことは大変残念ですが、リモート交流などでつながってこうと考えています。



始業式では、つみっ子の合い言葉の一つ、「あきらめない」に関係した話をしました。
(略したり要約したりしてあります。実際には分かりやすいように写真を見せています。)

私が子供の頃、私の家では「養蚕」をしていて、家の中で何万頭というカイコを飼っていました。カイコには、桑という植物の葉をたっぷりと与えるのですが、夜は周りが静かなので、「ムシャ ムシャ ムシャ」と、カイコが桑の葉を食べる音がよく聞こえるのです。養蚕の時期、私はその音を聞きながら眠りました。

カイコは繭を作り、その繭の中で蛹(さなぎ)になり、やがて、カイコガという蛾になります。子供の頃、「蛹」というものが奇妙で不思議でたまらず、調べたことを覚えています。

(略) これらの昆虫は、幼虫から蛹になり、体を作り替えて大変身をするのです。こんな大変身ができるなんて、わくわくしませんか。

ある日、目が覚めたら、走るのが速くなっていたとか、スポーツがすごく上手になっていたとか、漢字博士になっていたとか、そのようなことを想像することは楽しいことですし、そのような物語を作るのも面白いと思います。しかし、実際には、そのような急な大変身は起こりません。

急な大変身ではありませんが、皆さんの体は着実に成長しています。学年や人によって違いはありますが、赤ちゃんのときと比べると、皆さんの体の重さは、5倍から10倍くらい、何倍にもなっています。成長していくすごい力を皆さんは持っているのです。

そして、何より素晴らしいことは、人は、過ごし方次第で、体も、頭も、心も、よりよく成長させることができるということです。「あんなふうになりたい」「できるようにになりたい」と思ったら、それに近づくための方法を考え、続けてみましょう。がんばったからってうまくいくとは限りません。うまくいかないことの方が多いかも知れません。でも、何もしなかったら始まりません。

東京オリンピックでは、積志小出身の池田向希(いけだ こうき)選手が、「競歩」という競技で、見事、銀メダルを獲得しました。池田選手は、あきらめることなく粘り強く練習して、メダルを獲得するほどの選手になったのです。

「あきらめずに粘り強く行動すること」は、必ず自分の力になっていきます。2学期も皆さんの成長を楽しみにしています。